

平成18年度第9回(12月)理事会議事録

- ◇ 日 時：平成18年12月14日(木)午後6時32分～7時35分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：森嶋、今井、運天、吉本、高田、清水、竹浦、荒木、田畑、高橋、井戸田、
出野、北中、山田、酒井、神農、宮野、村上、事務(岩崎)
- ◇ 欠席者：大垣、東野
- ◇ 議 長：森嶋

【 討議内容 】

I. 行動報告(12月分)

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 特別事業関係で「近未来事業対策」、「医療経営戦略委員会」、「ICT戦略委員会」については、代議員会に答申が出るように進捗中。
- ・ 臨床検査振興協議会へ、オブザーバーとして参画する。
- ・ 認定一般検査制度特例試験の受験者125名に合否通知書を送付。
- ・ 「新輸血検査の実際」および日臨技技師会史」を発刊予定。
- ・ 日臨技生涯教育研修制度の改定(カテゴリーの分別、履修期間等)を予定。
- ・ 平成19年1月27日(土)代議委員会を開催予定。

2. 近臨技(12月13日開催)

- ・ 近畿医学検査学会同日開催について。
- ・ 近臨技会則一部改定(チーム医療の追加)
定款改定の訂正箇所があれば今井副会長に送る。(修正案等)
- ・ 平成18年度日臨技総合管理部門研修会(人材育成のため)
チーム医療に関する研修会に各府県技師会より1名派遣依頼があり。
今後の中心となる人に参加、研修を受けてもらうことにより、なお一層医療の
推進、後のリーダーシップを発揮してもらいたい。
大臨技として糖尿病療養部会 山下 己紀子部会長を参加、派遣させることに決定。
- ・ 再来年2月9日の近臨技推進委員会をJICA大阪で行なう。
チーム医療の役割、知識、活動ともに推進していかねばならない。
レベルを組み、カリキュラムを組み、よろず相談をしたいと考えている。管理者を
呼び意見交換をし、相互討論をする。

3. 事務局

〈総務部〉部会開催（11月15日）

- ・ 11月理事会開催準備
- ・ 災害時の事業中止決定時間についての討議。
- ・ 大臨技事務所の危機管理について討議。
- ・ 大臨技ホームページ掲載要綱について。
- ・ 第47回近畿医学検査学会の進捗状況について報告。
- ・ 第47回近畿医学検査学会ホームページの進捗状況について報告。
- ・ 表彰について検討。（理事等に配信した）
- ・ 電話音声の改善についての報告。
- ・ ニチマンビルの防犯ベル設置について報告した。

〈会計〉

- ・ 9月度収支計算書を作成。
- ・ 中間決算の準備。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース11月号発行。
- ・ 大臨技ホームページ更新。

4. 事業局

〈渉外部〉部会開催（11月21日）

- ・ 手話講演会の反省
- ・ 12月献血の参加者確認と役割
- ・ 合同フォーラムの進捗状況。

〈情報組織部〉部会開催（11月16日）

- ・ 11月18日（土）第23回技師長会について役割分担の確認をした。
- ・ 平成19年事業について内容、日程等を確認。
- ・ 第23回技師長会開催 参加者計84名
（会員41、多府県5、賛助25、講師4、関係者9）

〈地区事業部〉部会開催（11月16日）

- ・ 11月10日 支部長会開催 今年度事業・近畿医学検査学会・理事会・会員交流会の報告および予算案に関する件を検討した。
- ・ 3月17日 施設連絡者会に関して検討した。
- ・ 来年度事業に関して討議。

〈学術部〉 部会開催（11月17日）

- ・ 大臨技フォーラムについて内容を検討した。
- ・ 19年度事業計画に関して報告、一部修正をお願いした。
- ・ 緊急連絡網の説明。
- ・ 19年度学会に関して各部門の世話人の方にボランティアの要請を行なった。

【 議 題 】

I. I. 19年度大臨技主催事業の確認（未定）

II. 来年度の特別事業（職域部門創設検討委員会）

各職域間の意見交換の場として職域部門を創設することを検討する

III. 47回近畿医学検査学会について

- ・ 特別企画打合せ会議報告
- ・ 協賛企業申込み状況について
1月20日の締め切りに対し再度、お願いする。

- ・ 学会準備計画の確認について

一般演題 平成19年6月18日～7月31日

特別企画 平成19年7月1日～7月31日

募集目標数は、183題とする。

次回の合同会議は、2月23日開催予定

抄録集は、例年通りにする。

- ・ 広報について

大臨技ニュースに、毎月学会トピックス、特別企画の紹介を掲載予定。

学会案内のポスターについて従来の形式でなく、A3サイズで作成。

- ・ その他

①53回日本臨床検査医学会学術集会の報告があり54回も同じ方式です。

②日本臨床検査医学会参加費について3日間の場合、1万円となる。

③演題内容掲載について、近畿医学検査学会と日本臨床検査医学会との
区別をプログラム、抄録に明記。ホームページの閲覧。

④日本臨床検査医学会側の抄録集にも、近畿医学検査学会の演題もしくは、
日程の掲載を依頼することを提案。

⑤日本臨床検査医学会の懇親会は、USJで行なわれる予定。

IV. その他

- ・ 大臨技総会

議長・各委員候補者リスト

JICA 12月3日に無事終了。来年も継続する予定。

次年度からは、実施しやすい規則を新たに制定、国際部委員会を作る。

